

黒

の

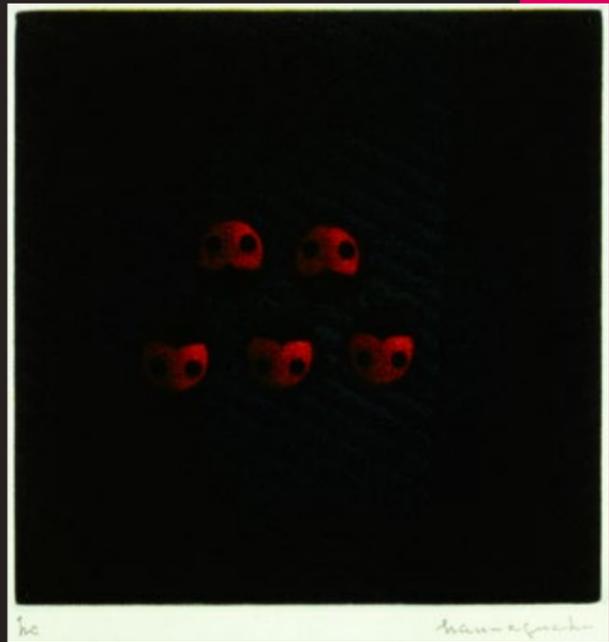
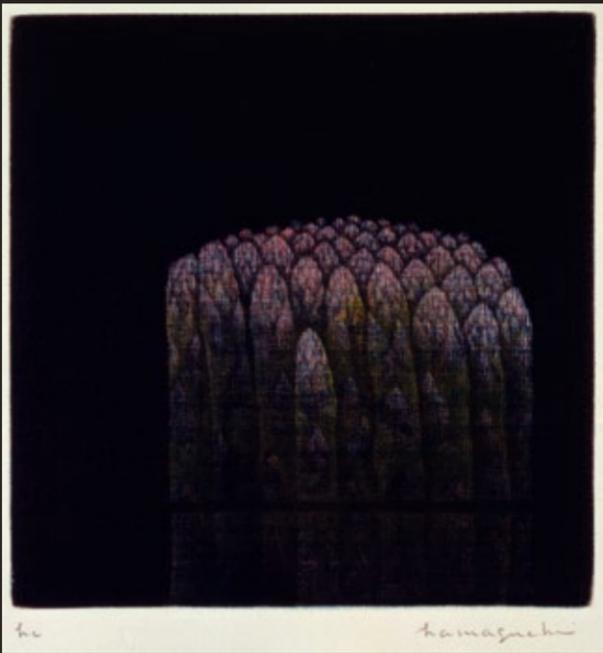
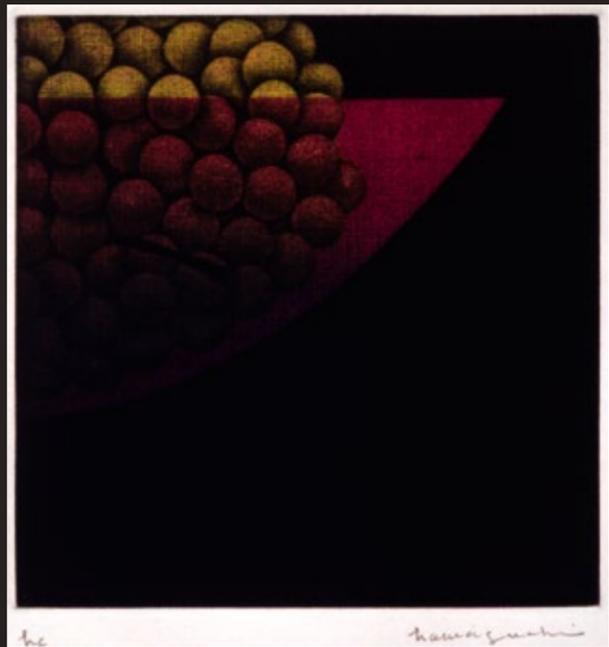
中

の

色

彩

カラーメゾチントを探る



版画集『Hamaguchi's six original color mezzotint』より
表面上から順に
《さくらんぼ》“Cherries” 11.6×11.5cm
《アスパラガス》“Asparagus” 11.7×11.6cm
《毛糸》“Ball of Yarn” 11.6×11.5cm
裏面(この面)上から順に
《ぶどう》“Grapes” 11.6×11.5cm
《ざくろ》“Pomegranate” 11.6×11.5cm
《てんとう虫》“Ladybirds” 11.6×11.6cm
制作年・技法はすべて 1978年 カラーメゾチント

MUSÉE HAMAGUCHI YOZO:
YAMASA COLLECTION
25th Anniversary II



展覧会概要

休館日 | 月曜日(ただし10/14、11/4は開館、翌火曜日が休館)

入館料 | 大人600円 / 大学・高校生400円 / 中学生以下無料

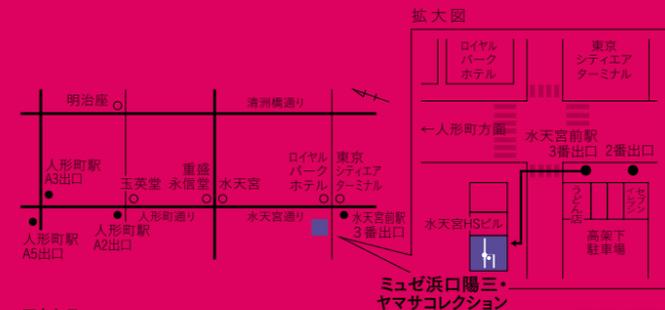
開館時間 | 11:00~17:00(土日祝は10:00~)、最終入館16:30

ナイトミュージアム…会期中の第1・3金曜日*は20:00まで開館、
最終入館19:30(*9/20、10/4、10/18、11/1、11/15、12/6)



会場 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7 Tel 03-3665-0251



アクセス
東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば
東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分
都営浅草線[人形町]A5出口徒歩10分



Access



Musée
Hamaguchi
Yozo:
Yamasa
Collection

誰も見たことのなかった色合いをこの世界に生み出す。
それは芸術家の見果てぬ夢に違いありません。
20世紀後半、浜口陽三は、銅版画によって成し遂げました。
それは闇から浮かぶ、柔らかな色彩でした。

この展覧会では、浜口陽三の銅版画と共に、
その色を生む技法について映像と刷りの体験で紹介します。
現実の世界にはありそうでない色を、ゆっくりとご覧ください。

展覧会アドバイザー
中林 忠良（東京藝術大学名誉教授）

COLOR MEZZOTINT

カラーメゾチント メゾチントは17世紀にオランダで発明された印刷技術。黒の濃淡を彫り加減で表現します。カラーメゾチントは、黄、赤、青、黒のメゾチントによる版を作り、刷り重ねて作る方法。最小限の色数で、すべての色彩を、やわらかな質感で表現します。

HAMAGUCHI Yozo

浜口 陽三 1909年和歌山県生まれ。1930年、東京美術学校の彫塑科を2年で中退し、フランスに渡る。第二次世界大戦勃発により帰国する1939年秋まで、現地で油彩、水彩、版画を制作。1950年頃から東京で銅版画に本格的に取り組み、1953年に再びパリに赴く。1955年頃、銅版画の新しい技法、カラーメゾチントを開拓し、その技法を使った作品により、国際コンクールで次々と受賞歴を重ねて活躍。1981年サンフランシスコに移住し1996年に帰国。2000年逝去。



《4つのさくらんぼ》“Four Cherries” 1963 カラーメゾチント 23.3×54.2cm

原色のインクで、柔らかな中間色が生まれる不思議。
浜口陽三とカラーメゾチントに関する
楽しい企画をご用意してお待ちしています。

《パリの屋根》など、浜口の彫った版(原版)を、
武蔵野市立吉祥寺美術館の協力により展示します。
1点ずつ異なる着想や、光の加減でしか見えないほど
微かな彫り方が見どころです。

今回のために、パリで浜口の原版を刷りました。
21世紀のカラーメゾチントの技術をご覧ください。

協力: Idem Paris(イデム・パリ)
Patrick Zenguinian氏



浜口が通ったパリのルブラン工房。当時の
刷り師が、もう一度、刷りを再現します。そし
て浜口陽三や、在りし日の工房の思い出
を、インタビュー映像で紹介します。

出演: Patrick Zenguinian(浜口陽三の刷り師)
Jocelyne Lallier(ルブラン工房主の奥様)
聞き手: Joëlle Roseman(陽三友人の奥様)
映像制作: Jean-Charles Guichard
(オリジナル・コンテンツ・プロデューサー/
チーフ・オペレーター TF1-フランス2-Canal+)
2024年8月

Events

1 気軽にカラーメゾチント体験

初心者向けの「刷り」のワークショップ。色の重なりを楽しめます。
会期中の水曜と土曜 ①13:00~ ②14:30~ ③16:00~
所要時間:約60分、材料費1200円

2 トーク:カラーメゾチントを見つける

版画工房カワラボ!の河原正弘氏に浜口陽三の版を見ながら、
色や技法について語っていただきます。開催日時:11月9日(土) 14:30~
参加費:入館料のみ 定員:45名(先着順)

3 銅版画メゾチント体験教室

1回の講習で製版から刷りまでを行う初心者向けの教室です。
ポストカードサイズの作品を作ります。講師:江本創
開催日時:10月27日(日)
【午前の部】10:00~13:00 【午後の部】14:00~17:00
参加費:2000円 定員:各回10名
持ち物:12×7.5cmの下絵、汚れてもいい服装またはエプロン

イベント1・3 お申込み方法

9月17日(火)12:00より電話にて(先着順)
(03-3665-0251)
開館時間のみの受付です。
ご希望のイベント番号と時間をお伝えください。



《うさぎ》“Rabbit” 1954 メゾチント 29.4×29.2cm

現代の銅版画家によるチャレンジ

モノクロの作品を発表しているメゾチント作家お二人に
小さなカラーメゾチントにチャレンジしていただきます。

多胡 宏
群馬県生まれ
1980年 筑波大学芸術専門学群卒業
版画「期待の新人」作家大賞展などで入賞 日本版画協会会員

佐竹 広弥
神奈川県生まれ
2014年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程 版画専攻 修了
現在 銅夢版画工房講師、女子美術大学短期大学部 非常勤講師

体験

銅の手触り、構図遊びなど、作品に近
づくための体験型コーナーもあります。
さらに興味を持った方は、四色の刷り
体験(下記イベント)をどうぞ。